

クサガメを知る

令和2年2月24日（月曜・祝）

会場 明石市民会館 中ホール（明石市役所本庁舎北）

参加費無料・定員 300 名

※資料代として 999 円（税込）が必要です

9 時 20 分～ 全国各地からの研究および調査結果の発表

13 時半～ 公開シンポジウム「クサガメを知る」

各分野の専門家の皆様にクサガメに関して明らかになっていることを紹介していただきます ※演題数は予定

第1部 クサガメという動物を知る

生態の研究についての紹介（2 題）

第2部 今のクサガメを知る

野外調査により明らかとなった生息状況についての報告（2 題）

第3部 昔のクサガメを知る

古文書等からわかる昔のクサガメの様相の紹介（2 題）

第4部 クサガメを語る

各演者らによるパネルディスカッション

16 時半 終了

カメは日本人にとってとても身近な動物です。天気の良い日に日光浴する姿を見かけて癒しを感じたり、道をのこのこ歩いている姿をみかけたら車に轢かれないように助けてあげたりと、カメは昔から人と共に暮らしてきました。しかしその身近なカメが最近、日本にもともと生息していたカメから外来種のカメに置き換わりつつあり、日本本来の自然が失われようとしています。交換会では、日本各地の淡水ガメの現状について発表していただき、その問題点や在来種の保全方法について議論します。また今回は、日本を代表するカメの一種であるクサガメにスポットをあてたシンポジウムも開催します。クサガメは、最近の研究によると、古い時代に人為的に大陸から持ち込まれた外来種と言われることもあり、在来種ニホンイシガメとの間で交雑問題や資源競争などを引き起こすことが心配されています。しかし、そもそも我々はどれくらいクサガメのことを知っているのでしょうか？今回のシンポジウムは、クサガメという動物についてさまざまな分野、地域の方々に語っていただき、これからのクサガメとのつき合い方について考えるきっかけとしたいと考えております。多くの方にご参加いただき、皆さんと共に日本の自然について語り合えることを期待しています。

主催：神戸市立須磨海浜水族園 認定 NPO 法人生態工房 共催：明石・神戸アカミミガメ対策協議会

明石・神戸アカミミガメ対策協議会は、明石市及び神戸市の外来種アカミミガメ対策を広域的に実施することを目的に、明石市、神戸市、兵庫県、須磨海浜水族園ら合計 9 の個人や団体により平成 29 年に設立した団体です。

◆前日開催◆ 前日の 2 月 23 日（日曜）14 時から同会場にて、明石・神戸アカミミガメ対策協議会が行った外来種アカミミガメ対策の取り組みを紹介する成果報告会「明石市・神戸市のアカミミガメは減ったのか？」が開催されます（参加費無料）。併せて参加される方は申込用紙（裏面）でお申し込みください。